



本巣市 議会だより

第50号

contents

平成28年第1回定例会開かれる	……P. 2
11人が一般質問に立つ	……P. 5
委員会活動	……P.11
審議結果および各議員の表決	……P.14
特集①	……P.15
特集②	……P.16



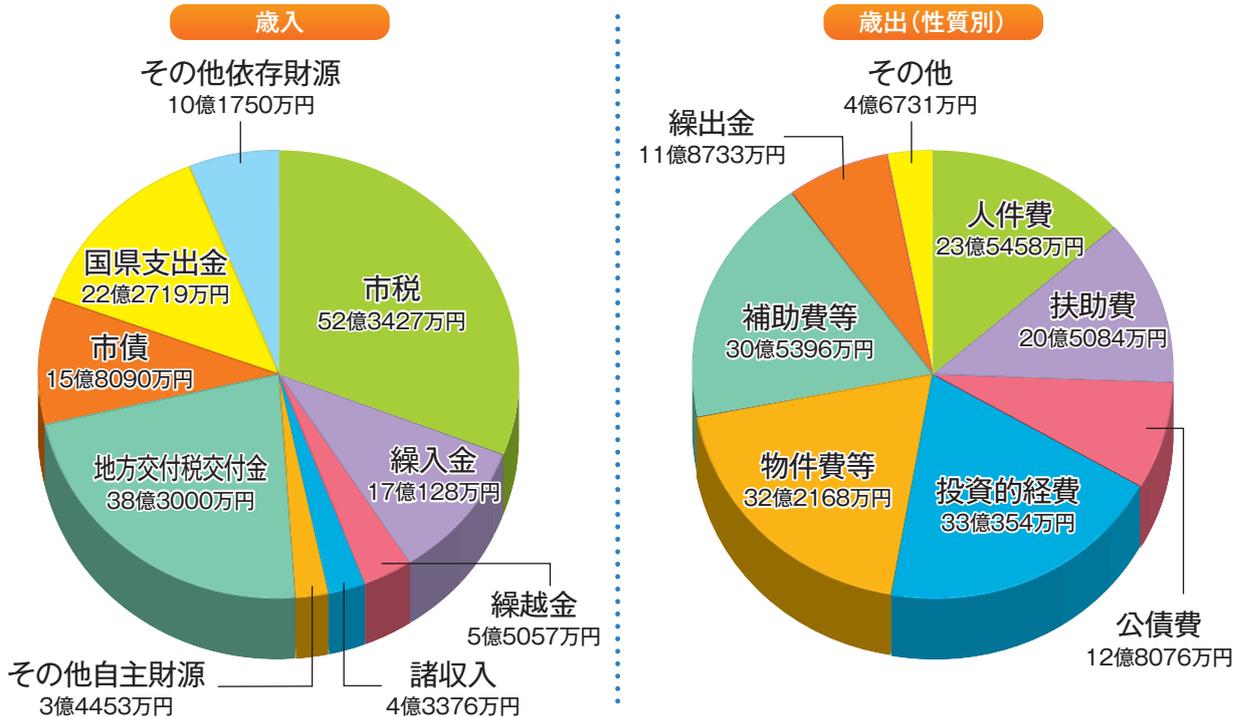
●第1回定例会開かれる●

定例会開かれる

条例制定6件、条例改正12件、当初予算6件、
その他15件を審議・決定しました。

円グラフで見る28年度一般会計予算

本巣市一般会計予算…169億2千万円 前年度より11億5千万円の増額(前年度比 7.3%増)



TPP交渉結果の情報開示と「大筋合意」の慎重な審議を求める意見書

TPP(環太平洋経済連携協定)交渉における閣僚会議は、平成27年10月5日に大筋合意を発表した。今回の交渉の大筋合意により、世界の国内総生産合計の4割近くを占め、約8億人の人口を抱える巨大経済圏がアジア太平洋地域に誕生することになるが、国内の食糧生産と食の安全、健康保険制度や医療制度などへの深刻な影響も懸念されている。さらに大筋合意にはISD条項も含まれるなど、国民生活への影響は計り知れない。

とりわけ、農林水産分野の重要5品目のうち、米については、関税を維持したものの、米国及び豪州に対する無関税輸入枠を設けるほか、牛肉、豚肉、乳製品においては、関税の撤廃若しくは段階的な引き下げが行われ、5品目以外についてもその大半が関税撤廃されることで安価な外国農産物の輸入が国内の農業生産に打撃を与えることは必至であり、生産現場に不安が広がっている。

また、平成28年2月4日に署名、3月8日にはTPP(環太平洋経済連携協定)の承認案と関連11法の改正事項案を一括した閣議決定がされ、5月には協定承認、法案成立を目指している。

いま、生産現場や国民が抱えている根強い不安や疑念と真摯に向き合う姿勢が必要である。

よって、国においては、国民に対して詳細な情報提供を行い、国民生活や地方経済に与える影響を分析し、慎重に審議することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

●定例会で決まったこと●

平成28年 第1回

3月8日～3月25日、平成28年第1回定例会を開き、
補正予算6件、意見書1件

28年度一般会計の主な事業

人と環境にやさしく生きがいのあるまちに

(市民環境部・健康福祉部)

- 住宅用太陽光発電システム設置整備
.....980万円
- 福祉医療費助成.....4億0873万円
- 生活困窮者自立支援364万円
- 介護・訓練等給付による支援 4億6927万円
- 節目健康診査2148万円
20歳から65歳までの5歳ごとの節目に
- 妊婦健康診査2515万円
妊婦健康受診券の交付し、経済的負担を軽減
- 留守家庭教室の拡大.....9539万円
対象年齢の拡大と新たに2教室を開設

障がい者・高齢者の安心のために

(健康福祉部)

- 高齢者タクシー利用助成258万円
- 高齢者・障害者ヘルプカード.....73万円
緊急時安心カードを作成し配布
- 三世同居・近居支援.....301万円
三世代が市内で同居、近居するために
住宅を取得又は改修する場合に交付
- 年金生活者等支援臨時福祉給付金
.....1億1445万円

地域振興に関する取り組み (企画部)

- 商品券事業による地域経済活性化
助成金の一部又は全部を商品券で交付
.....5607万円
- 移住・定住の促進2452万円
- ふるさと納税の促進1030万円

児童・生徒の環境整備のために

(教育委員会)

- 太陽光発電設備2938万円
席田小で工事及び管理、外山・根尾小、根尾中に
設計
- 学校トイレの洋式化1億0001万円
真桑小、糸貫中の学校トイレを整備
- タブレットの導入.....681万円
小・中学校の特別支援学級数に合わせ導入
- 中学校電子黒板整備..... 2426万円
真正・糸貫中に設置

道路や橋りょうなどの整備

(産業建設部)

- 長良・糸貫線整備.....3億8315万円
- 糸貫0007号線整備.....2億0387万円
- 市道根尾83号線災害防除6350万円
- 市道真正2016号線整備.....7092万円
- 耐震改修促進事業777万円
- 市道橋りょう点検修繕5450万円

その他新規事業

- バス停設置工事124万円
バス停留所に風雨避け施設の整備
- 動画配信7万円
ユーチューブで行政情報を発信、PR
- 漁業振興補助金69万円
- 里山修景事業540万円
- FC岐阜活用支援事業144万円

● 定例会で決まったこと ●

主な議案

人事案件

- 監査委員の選任 ・ 三田村 晃司氏
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
・ 杉山 行生氏・ 畑中 廣司氏・ 安藤 秀司氏
- 人権擁護委員候補者の推薦
・ 藤井 賢司氏・ 高橋 智恵美氏・ 白木 佳子氏
- 教育委員会委員の任命 ・ 村瀬 里佳氏
- 選挙管理委員の選挙
・ 高橋 和夫氏・ 市橋 勝氏・ 飯尾 秀和氏・ 伊藤 美奈子氏
- 選挙管理委員補充員の選挙
・ 石川 章氏・ 安藤 隆氏・ 福井 愛子氏・ 高田 敏幸氏
- 岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
・ 藤原 勉氏
- 教育長の選任 ・ 川治 秀輝氏

条例改正

- 消防団員等公務災害補償条例の改正
・ 他法令による給付との年金及び補償額の調整
- 職員の給与に関する条例の改正
・ 人事院勧告による期末勤勉手当の支給率及び給料月額(平均0.4%)の引き上げ
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正
- 議員その他非常勤の職員の公務災害補償に関する条例の改正
・ 他法令による給付との調整
- 非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の改正
・ 行政不服審査法及び学校教育法施行令の改正による関係委員の報酬等の改正
・ 行政不服審査法及び学校教育法施行令の改正による関係委員の報酬等の改定
- 真正デイサービスセンターの廃止
・ 利用者の減少により廃止
- ねたきり老人等介護者慰労金支給
・ 慰労金を商品券による支給を可能とする

条例制定

- 職員の退職管理に関する条例
・ 再就職者による依頼等の規制の導入に必要な事項を規定
- 職員の降給に関する条例
・ 降給の種類及び手続き等を規定
- 幼児園設置条例
・ 市内すべての施設を幼児園とする

平成28年度特別会計・企業会計予算

会計名		予算額
国民健康保険特別会計	事業勘定	44億0000万円
	施設勘定	2億5400万円
後期高齢者医療特別会計		3億6500万円
簡易水道特別会計		水道事業会計へ統合
農業集落排水事業特別会計		6億6000万円
公共下水道特別会計		3億5500万円
水道事業会計	収益的事業	9億1300万円
	資本的事業	8億0080万円

平成27年度補正予算に対する質疑

- Q** 職員数について、補正後は3名減となっているが、現場での仕事の対応はどうか。
- A** 3名減というのは、中途の退職などによるものであり、臨時職員等の新規雇用や、現員の中でやりくりするような形で対応をしております。

平成28年度一般会計予算に対する質疑

- Q** 市内の崩壊寸前の空き家対策への対応は。
- A** 所有者が亡くなっているため、相続人を調査したうえで、県に報告をさせていただいた状況です。県と協力しながら相続人の方に取り壊しをお願いしていく方向で交渉を進めていきたいと思っております。

Q 広く公共交通の体系については、市の助成金、補助金はあるが、デマンドということを含めて検討されているので、樽見鉄道、市営バス、タクシー、岐阜バス、そんなことも含めて総合的に、そろそろ方向性を出していかないといけないと思うが。

A 平成28年度におきましては、本巢市、瑞穂市、北方町、大野町が連携いたしまして、地域の課題を整理したうえで、地域の実情にあった交通体系の構築と通勤通学の拠点であるJR穂積駅までのアクセスの向上を図るための検討やアンケート、それから社会実証計画の作成など4市町で連携して進めていきたいと考えています。そのような体系に基づきデマンド交通のあり方も併せて検討していく必要があるものと考えています。

Q 魅力最大化誘客促進事業の仮設商品(モニターツアー)の実証実験とは。

A 平成25年度から実施しており、地域資源を活用するために「真の魅力」を発掘することが必要であり、本巢市へ来ていただくために新しい観光ルートを探したり、そのような形でモニターツアーをやったり、ワークショップを今まで開催したりしてきていますので、来年も引き続き実施するものです。

Q&A

●一般質問●

3月定例会

11人が一般質問に立つ



後藤 壽太郎 議員

◎ 藤原市長3期目の抱負について

Q1 藤原市長の市政運営基本姿勢の職員の理解度と職員教育は
A1 引き続き基本姿勢の意識の共有に努めます

藤原・市長

「対話重視」「現場主義」「市民目線」の基本姿勢を管理職職員には訓辞や研修会を実施し、全職員には庁内LANやランチミーティングを行い意識の共有に努めてまいりました。3期目となる新年度においても実施し、全職員が知恵を出し、汗をかき、市民の皆様と一緒に頑張って住みよいまち日本一を目指して、「さらに元気で笑顔あふれる本巢市づくり」を引き続き進めます。また、公務員はサービス業であり、市民には丁寧親切に対応するよう教育していきたいと思えます。

Q2 本巢市の清流根尾川や緑豊かな山の観光資源の活用は
A2 豊かな自然環境は本市の大切な観光資源と考えています

第2次総合施策の基本方針に「豊かな自然環境や歴史的地域資源を活かした観光施設の充実と、観光協会を中心とした観光推進体制の確立を図りつつ、市の魅力をより広くPRし、流入人口の増加に努めます」と掲げています。清流根尾川や緑豊かな山も観光資源として活用し、四季折々の魅力情報の発信に努めます。

Q3 藤原市長は市民協働のまちづくりをどのように進めるか

A3 市民協働指針のもと市民が主役のまちづくりを進めます

本巢市の特性に助け合いの心と人のぬくもりがあり、これを大事にすることにより市民協働に繋がります。市民活動の支援や情報の発信、人材育成機能などを併せ持つ市民交流の拠点を設置し、市民の自主的な活動を支援し市民協働のまちづくりを一層進めたいと考えています。



鵜飼 静雄 議員

◎ 障がい者・高齢者の外出支援は市が先頭に

Q 障がい者・高齢者の外出支援は市が先頭に
A 引き続き社協と協議します

村瀬・健康福祉部長

移動手段の確保は、福祉有償運送による実施も重要で、協議を重ねて検討します。

Q 子どもの貧困対策を

2012年の子どもの相対的貧困率は16.3%です。いまあらためて計画的な対策の推進を考える必要があるのでは。

A 計画見直し時に検討します

村瀬・健康福祉部長

子育て支援事業の計画の見直し時に子どもの貧困対策を計画に含めることを検討します。

A 様々な担当部署と協議します

岡崎・教委事務局長

担当部署と連携を図り、支援計画ができるよう協議します。

Q 留守家庭教室職員の賃下げは見直しを

市の制度変更で、これまでの留守家庭教室の代替指導員が、保育士等の資格がなければ今度は、代替補助員にされ同じ仕事内容なのに時給が切り下げられます。「同一労働同一賃金」の観点から再考すべきです。

A 職務内容を含めて見直しを図ります

村瀬・健康福祉部長

Q 職員の再任用は要綱に沿って意向調査の実施を

A 今後は要綱に沿って対応します

大野・企画部長

Q 庁舎統合問題は市民参加で

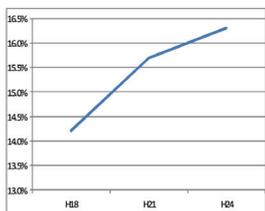
検討委員会の結論を、2月1日から一ヶ月でとの市の進め方は住民不在ではないか。

A ゆっくりと慎重に意見を聞きながら進めます

藤原・市長

委員会での意見を踏まえ、場所や方法等、引き続き検討します。

子どもの貧困率の推移



●一般質問●



堀部好秀 議員

Q 大規模災害時における行政の対応について

本巣市の全域が被災する大規模災害時に対応の主導となるのは行政です。

Q1 産業建設部の担当業務は
A1 被害情報の把握・災害応急対策・パトロール等です

青木・産業建設部長

Q2 部の体制は十分ですか

A2 国・県等との応援協定や民間との災害協定を結んでいます

Q3 上下水道部の担当業務は

A3 水道施設や下水道施設の情報収集と応急対策を講じます

三浦・上下水道部長

Q4 部の体制は十分ですか

A4 順次の対応となりますが、施設の監視を強化していきます

Q5 専門知識を有する人的支援を考えていますか

A5 公助・自助・共助による強固な支援体制の構築に努めます

神谷・総務部長

Q 葬祭料助成金について

助成金制定以来、三箇所の近隣火葬場の火葬料金が改定され

値上げしています。

Q1 改定に伴い見直す時期では

A1 二箇所の値上げとの認識です

藤原・市長

Q2 50%の助成率の変更は

A2 近隣火葬料金の平均額の半額程度と考えています

Q 本巣市の観光施策について

本市にはたくさん観光資源があり有効活用が必要です。

Q1 今後の市の観光施策は

A1 既存施設の充実と新規発掘を
行い交流人口拡大を図ります

藤原・市長

Q2 観光に携わる部署・団体の連絡体制は

A2 関係部署と緊密に連絡を取りながら事業を推進します

青木・産業建設部長

Q3 西美濃地域だけではなく岐阜地域とも連携すべきでは

A3 機会を見つけて積極的に連携を図っていきます



▲ライトアップされた淡墨桜



江崎達己 議員

Q 人口減少社会の本格到来について

日本創生会議からの公表によりますと全国1800の市町村のうち896の市町村が消滅可能性都市と試算され、岐阜県下では42の市町村のうち17市町村が該当、本市はこの公表には該当しませんが、今後の市政運営が最も重要であります。

Q1 人口減少についてどのように考え、戦術を温めていますか

A1 人口減少問題の克服に向けた取組みを強化します

藤原・市長

移住・定住対策、都市計画マスタープランの見直し・子育て支援策に加え、多子世帯への子育て支援や三世代の同居・近居のための住宅改修への助成等施策の拡充を図り包括的な支援を推進します。いずれにしても、人口減少問題を起因とする生産年齢人口の減少や少子高齢化の進行は、経済規模の縮小、1人当たりの社会保障費の負担の増など社会経済や雇用環境、社会

福祉等の各分野において大きな影響を及ぼし、地域を支える力が減少し、地域の存亡にも直結しますので、取組みを強化してまいりたいと考えております。

Q 議員報酬について

全国市議会議長会の調査結果では、本市は、全国812市のうち報酬額は795番目であり県下では最下位であります。

Q1 報酬審議会の開催・見直しを含む今後の取組み方針は

A1 新年度に特別職報酬等審議会へ諮問したいと考えております

藤原・市長

議長より「次代を担う議員の定数及び報酬について」本巣市特別職等報酬審議会において意見を聞くよう求められております。



●一般質問●



鏑本規之 議員

Q もとす広域連合老人福祉施設大和園について

Q1 大和園の赤字解消に向けた取り組みは

A1 経営改善に努め継続できるように努力します

藤原・市長

「介護とは人と触れ合う」という介護への理解を深め利用者の方の心情を大切にし、尊厳をもつて接することを大切にしなければなりません。園長は、管理者であると同時に経営責任者でもあり、経営者としての意識も必要であり市民にとって必要な福祉施設として認められ継続できるように努力していただきたいと考えております。

Q 真正分庁舎北のテニスコート跡地について

Q1 行政代執行・事務管理が行われた経緯・今後について

A1 法的手段も含め検討します

岡崎・教育委員会事務局長

この跡地は平成8年9月30日に真正町から土地所有者に返還されました。平成21年12月に隣

接する他の所有地にフェンスが倒壊し、テニスコート跡地所有者に撤去の依頼をしましたが拒否された為やむなく民法に基づき行政が地主に変わって撤去を行いました。未だに費用は徴収されていませんので、法的手段も含め検討します。

Q 真正中学校グラウンド南の雑木林の開発の進捗状況は

A 顧問弁護士と連携を取りながら進めていきます

白木・教育長

*リバーサイドモールの未収金についても質問しました。



▲真正分庁舎北側のテニスコート跡地の様子



黒田芳弘 議員

Q 3期目市政運営への決意は

Q1 3期目のまちづくり構想は

A1 人口減少対策と地域の活力の創造を図ります

藤原・市長

地方創生や高速道路開通に向け期待される一方、交付税優遇措置の期限切れが迫り、極めて重要な4年間ですが、
Q3 期目の具体的施策は
Q2 3期目の6つが重点施策です
A2 次の6つが重点施策です
 ① 地域資源で活力を創造
 ② 安心して子育てできる施策
 ③ 生活弱者への福祉の充実
 ④ 防災拠点整備と危機管理体制の強化
 ⑤ 住みやすい環境を推進
 ⑥ 教育環境整備や市民活動への支援拡大

Q3 新年度予算編成の重点施策は

A3 移住定住策・子育て支援・景気雇用対策を重点的に行う

Q 森林セラピーの有効活用は

Q1 オープン以後の状況は
A1 もとす振興公社で企画運営を行い延べ276人が参加
 大野・企画部長

広報紙や観光PR展、ホームページで啓発周知を図っています。

Q2 新年度予算に関する詳細は

A2 ガイド養成やロードの環境整備・都市部へのPRを実施

Q3 今後の展開や課題は

A3 ガイドの育成・確保や体制強化・営業活動などが課題です

Q アドプト制度の導入を

Q1 行政と協定し、公共財を地域で守る、この制度の見解は

A1 必要性を考えます

青木・産業建設部長

地域のインフラ機能が安定的に発揮され、行政負担の軽減につながるかと考えます。

Q2 本市においての制度導入は

A2 連携して「みんなで支える」環境づくりに取り組みます



▲本巢市が作成したパンフレット

● 一般質問 ●



舩渡 洋子 議員

Q ICTを活用した子育て支援について

A1 キッズページの導入はホームページで子どもたちに本市の魅力を届けては。

A2 「子育て支援Webサイト」と合わせ検討します

藤原・市長

Q2 子育て応援アプリの導入は

スマートフォンを活用し、子育て支援情報の閲覧ができるアプリの導入を。

A2 Webサイト構築の段階でアプリ版を同時に構築します

Q 認知症への取り組みの充実強化は

A1 認知症サポーターの状況は平成21年度から実施の養成講座で、1266人です

村瀬・健康福祉部長

「キャラバン・メイト」は18人が登録され養成講座の講師などで活動、認知症について正しく理解し、自身のできる範囲で支援を行っていきます。

Q2 認知症の「早期発見」の取り組みは

軽度認知障害を放置すると認知機能の低下が続き、5年間で50%の人が認知症へと進行するため早期発見の施策は。

A2 「認知症ケアバス」を作成し早期診断・対応につなげます

Q3 「認知症初期集中支援チーム」の取り組みは

A3 平成28年度中に準備し、平成29年4月の設置を目指します

Q4 「認知症カフェ」の取り組みは

A4 平成28年より市内の特別養護老人ホーム等で開催予定

Q 高齢ドライバーの免許自主返納の対策は

A 市営バスの無料化

神谷・総務部長

A タクシーの一部利用助成等

村瀬・健康福祉部長
75歳以上の運転免許証を有しない高齢者世帯に、タクシーの一部利用助成等を行います。



高田 文一 議員

Q もとす振興公社「織部の里もとす」の経営について

A1 抜本的な経営改善は施設改修も含めた運営の見直しを検討します

石川・副市長

地元農産物を活用した新商品の開発やインターネット販売等に取り組み、さらに民間企業のノウハウを取り入れています。

Q2 職員の意識改革は

A2 職員研修を実施します
利用者へのアンケートを実施し情報を共有し、サービスの改善に努めます。

Q3 出荷者の要望や意見の受け入れ体制は

A3 苦情や意見は、毎月の事務連絡会議で検討し改善します

* 統合のメリットについても質問しました。

Q 第3次本巢市行財政改革大綱についての第2次の成果は

A 業務の改善が図られました
補助金の見直しや職員の削減

大野・企画部長

に効果があり、実施計画では68・6%の進捗率、財政的には1億5千万円ほどの効果がありました。

* 第3次改革大綱の骨子についても質問しました。

Q ストレスチェック制度の導入について

A 調査を実施する予定です
法改正により平成27年12月から毎年1回の検査を全労働者に対して実施することが義務付けられました。市の取り組みは。

大野・企画部長

全職員を対象に調査を実施する予定です。この制度により、メンタルヘルス不調の未然防止に努め、職場改善につなげます。

Q 障がい者に対する行政サービスについて

A 障がい者差別解消法が4月より施行されますが職員の対応は職員対応マニュアルにより推進し、研修会も実施します

村瀬・健康福祉部長



▲桜の時期の織部の里もとす

● 一般質問 ●



高橋勝美 議員

Q 農林漁業の6次産業化について

農林漁業の取り組みは、生産（1次産業）、加工（2次産業）流通販売（3次産業）を一体化し6次産業化を進めなければならぬ。農林水産省の統計によると、農業算出額から経費を差し引いた「生産農業所得」2014年は約2兆8千億円であり、20年前の1994年よりほぼ半減になってしまいました。農産物に付加価値をつけて商品単価を上げ、所得向上につなげるため、今後の営農指導は、

A 6次産業化に向けた支援

農業者の高齢化による後継者不足が喫緊の課題であることから、効率的かつ安定的な農業経営を促進して行くため、県などの行政機関や教育機関、民間企業と連携し、国の支援交付金制度を活用して、農産物等の6次産業化を進めます。

藤原・市長

Q 電力の小売全面自由化について

2016年4月1日から「低圧」の家庭や商店などに新規参入の電力会社「新電力」を選んで電力を購入することが出来るようになりましたが、市の今後の電力の調達は、

A 電力の安定供給と経済的効果・検討します

平成27年3月1日より6千ボルト以上の高圧受電している施設中で小中学校・幼稚園で22施設、平成28年3月1日からは、26施設で特定規模電気事業者と電気供給契約をしております。低圧電力の調達は、安定供給と経済的なメリットを検討します。

神谷・総務部長



▲農林水産省HP「農業・農村の6次産業化総合調査の実施について」より



道下和茂 議員

Q 特別天然記念物の文化財などの登録推進について

貴重な文化財を観光等や持続可能な地域発展に活かす「ジオパーク」は有効な方法です。

A1 ジオパークについての考えは観光振興に繋がるだけでなく様々なメリットがあります

青木・産業建設部長

A2 根尾谷断層・菊花石などの推進は用いた「ジオパーク」の推進は観光資源と組み合わせ、活用を図る体制も含め検討します

A3 認定に向け取り組みます

藤原・市長

Q ビジット西美濃キャンペーンに参加して

感想と本巢市への外国人誘客への思いは、

A 外国人誘客の環境整備や受

A 森林経営計画で指導します

藤原・市長

主要施設へのWi-Fiの設置、もともたるナビ、観光サインの多言語化に取り組みます。

Q 集落内に点在する山林の整備について

景観向上や有害獣被害軽減に効果がある、山林や藪と化した原野（河岸段丘法面、集落に隣接する一定範囲）の整備は必要です。

A 事業計画に位置づけます

青木・産業建設部長

事業者等に、事業提案を行い一層の整備推進を図ります。



▲震災直後の断層



▶根尾谷菊花石

● 一般質問 ●



若原敏郎 議員

Q 分庁舎方式から統合への体制直しについて

庁舎整備検討委員会での提案は、全部局を本庁舎に集約する案が出されたと聞きますが。

Q1 検討委員会で出された庁舎統合基本方針は

A1 本庁舎へ統合が妥当との素案を示しました

大野・企画部長

既存施設を最大限活用した庁舎の統合と、防災拠点性が高いなどを踏まえました。

Q2 別棟を、合併特例債を財源にすれば、本庁は決定では

A2 起債の同意基準から概ね50年は処分できません

Q3 将来の本庁の位置は、市民の大半が認める場所を選択で

合併前に、「新しい庁舎建設については、新市において検討する」となっている。「分庁舎方式を変更し、庁舎統合するが新庁舎は」から始めるべきでないか。

A3 引き続き検討が必要です

藤原・市長

庁舎統合検討委員会での意見を踏まえ、場所や方法、時期について検討する必要があると考えます。

Q 弾正小学校体育館の増築は

耐用年数や増築スペースに問題の施設を、耐力度調査で新築か増築かを判断し増築するのは疑問が残るが。

Q1 増築の場合、敷地に余裕は

A1 増築する場合は、関係者と検討します

岡崎・教育委員会事務局長

南面及び東面への増築を考えると駐車場や通路は変更になると思われるか。

Q2 今後の耐用年数は

A2 長寿命化改修で、改修後30年以上の耐用年数を確保します

Q3 この体育館が避難所が良いか

A3 1階以上が有効とされています



▲弾正小学校体育館

議員活動日誌

日時	場所	会議名等
2月5日(金)	本庁舎	もとす広域連合 議会運営委員会
2月8日(月)	中津川市	第275回岐阜県市議会議長会議
2月16日(火)	本庁舎	西濃環境整備組合 議会定例会
2月17日(水)	本庁舎	もとす広域連合 議会全員協議会
2月19日(金)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会(開会)
2月22日(月)	本庁舎	議会全員協議会 議会運営委員会
2月23日(火)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会(開会)
2月25日(木)	本庁舎	もとす広域連合 老人福祉常任委員会
2月26日(金)	本庁舎	もとす広域連合 総務介護常任委員会
3月1日(火)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
3月8日(火)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会(閉会)
3月10日(木)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
3月15日(火)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会(閉会)
3月16日(水)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
3月17日(木)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
3月18日(金)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
3月22日(火)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
3月23日(水)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
3月24日(木)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
3月25日(金)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
3月29日(火)	岐阜市役所	もとす広域連合 議会定例会
3月31日(木)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
4月8日(金)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
4月14日(木)	本庁舎	もとす広域連合 議会定例会
4月21日(木)	岐阜市	もとす広域連合 議会定例会

● 委員会活動 ●

～ 委員会活動 ～

総務企画委員会 3月17日(木)

審査付託案件 ※ 審査の結果、全員賛成となった案件

1. 本巢市行政不服審査会条例

Q 審査会委員には、どんな人を選任するのか。

A 現在の想定としては、弁護士、会計士、行政職員のOB、大学教授等の中から問題となっている事案に対して審議できる方を選びたいと思います。

2. 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

3. 本巢市消防団員等公務災害補償条例の一部改正

4. 本巢市職員の退職管理に関する条例

5. 本巢市職員の降給に関する条例



6. 地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

Q 人事行政の運営等の状況の公表の中に、職員の人事評価の状況とあるが、どのような内容まで公表するのか。

A 個人別の評価の公表ではなく、各評定段階の人数や率までが公表内容になると思われます。

7. 本巢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

8. 本巢市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

9. 本巢市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

協議案件 (関係部分)

1. 平成28年度本巢市一般会計予算

Q バス停への風雨避け施設の設置工事が一方所計画されているが、他のバス停への設置予定の考えは。

A 将来的には、利用者が増えてくれば風雨避け施設は必要となってきますので、利用者数を見て考えていきたいと思っています。

Q 自主防災組織の備品の充足状況や防災士の配置状況は。

A 自主防災の備品については、それぞれ自主防災組織の事情に合わせて、必要な備品を購入しております。防災士については、目標としては各自主防災組織につき1人配置するものです。今年度については、6名取得しています。

Q 防犯灯のLED化の今年度の進捗率は。

A LEDは100Wと40Wがあり、現在の進捗率は40%ぐらいです。

Q ふるさと納税促進事業に係る返礼品の人気商品と、寄付金の使い道は。

A 昨年の2月までについては962件の寄付があり、返礼品の順位は、富有柿、洗剤等のランドリーセット、積木セットが上位3つとなっています。希望される使い道については、全部で6つのメニューを用意しており、一番多いのは、本巢市の振興に関する事業、子育て支援関係、淡墨桜の保護・保存という状況になっています。

Q 「住みます芸人」についての活動内容は。

A 実績としては、モレラで行っているもとまるに一どに毎回出てもらっています。昨年のおもてなし事業、敬老会や、本巢市情報局にも出演してもらっていました。また知っていたくということと広報紙での特集として、紹介しました。今年度は、振興公社のうすずみ温泉で番頭というような形でやってもらうこともよしもとと調整しています。

●委員会活動●

～委員会活動～

文教福祉委員会 3月18日(金)

審査付託案件 ※審査の結果、全員賛成となった案件

1. 平成28年度本巣市国民健康保険特別会計予算
2. 平成28年度本巣市後期高齢者医療特別会計予算
3. 本巣市デイサービスセンター、本巣市在宅介護支援センター及び本巣市根尾生活支援ハウス条例の一部改正

Q 真正デイサービスセンターの利用状況と廃止後における対応は。

A 現在の利用者は平均5人程度であり、廃止後は利用者がケアマネージャーと相談のうえ、他の施設を選択されることになります。

4. 本巣市介護保険居宅サービス事業及び居宅介護支援事業条例の一部改正
5. 本巣市ねたきり老人等介護者慰労金支給条例の一部改正



Q 慰労金を商品券に替えることについて、市民に対する事前周知の方法は。

A 4月の広報紙に掲載し周知を行う予定です。

6. 本巣市立幼稚園設置条例
7. 本巣市立幼稚園条例の一部改正
8. 本巣市保育所条例の一部改正
9. 本巣市出産祝金支給に関する条例の一部改正

Q 平成29年度からの出産祝金額の引き下げについては、保護者の子どもを育てる意思がそがれるような気がするが、どのような考えか。

A 今回、子育て支援制度の改正を考えています。1回限りの祝いでなく、持続的なかたちで支援を行っていくため、出産祝金の額を引き下げ、第3子以降の給食費を無料化するよう新年度予算に計上させていただいています。

10. 指定管理者の指定

協議案件 (関係部分)

1. 平成28年度本巣市一般会計予算

Q 障がい者見舞金、長寿祝金を商品券で交付することは。

A 市内の中でお金が循環する仕組みとして、平成28年度の障がい児見舞金については、全額商品券、また長寿祝金については、満88歳の3万円は全額商品券、満100歳の方の祝金50万円の内10万円を商品券でお渡しするものです。

Q 重度障がい者タクシー利用助成事業の交付状況、限度額及び周知方法は。

A 平成27年度から事業を開始していますが、交付者数は9人で利用が少ない状況です。28年度は、周知をしっかりとしていきたいと考えています。利用限度額の根拠は、タクシーの初乗り料金が600円、お迎え料金が100円で700円と設定させていただいております。

Q シニア元気いきいき事業の利用回数は。

A 27年度6000枚を準備させてもらいました。28年度は、総枚数で1500枚を追加をし、1人3回、2500人分の7500枚限定で予算要求をさせていただいています。27年度は、申込み期間内に券がなくなってしまい申込みに来ていただいた方にお断りすることがあり、たいへんご迷惑をおかけしました。28年度は券の残数について、各庁舎での掲示や、ホームページで残数を掲載するなど周知を考えています。

Q 小中学校トイレの洋式化は。

A 真桑小学校、糸貫中学校の改修を計画しております。洋式化については、50%以下のところを順次計画しており、真桑小学校と糸貫中学校を整備すれば、50%以上になる予定です。ちなみに、真桑小学校を整備すれば、小学校全体で洋式化率が84%となり、中学校全体では、68.8%になります。

● 委員会活動 ●

～ 委員会活動 ～

産業建設委員会 3月22日(火)

審査付託案件 ※審査の結果、全員賛成となった案件

1. 本巢市手数料徴収条例の一部改正
2. 平成28年度本巢市農業集落排水事業特別会計予算

Q 市内農業集落排水施設の維持管理を行っている業者は何社か。

A 糸貫地域、本巢地域は同じ業者であり、市全体では3社です。

3. 平成28年度本巢市公共下水道特別会計予算

Q 汚泥の処理は業者に依頼しているのか、また市で資源還元しているのか。

A 公共下水道については、産業廃棄物となり大阪住友セメントでリサイクルしています。

4. 平成28年度本巢市水道事業会計予算

Q 簡易水道の未収金はどのような対応か。

A 3月中に入金の見込みがなく、4月以降に入金となるものについては、水道事業会計に未収金として引き継ぎます。



▲糸貫大構地内 橋りょう改修工事現場の視察

協議案件 (関係部分)

1. 平成28年度本巢市一般会計予算

Q 里山修景事業の進め方は。

A 林政部だけではできないので、自治会にもお諮りをし、地主のことも踏まえたうえで進めていく予定です。



産業建設委員会協議会 3月22日(火)

報告案件

1. 野生獣肉処理加工施設整備後の取り組みについて

Q 6次産業化に向けた計画は。

A 6次産業化に則ってやっていけるよう、市として指導をしていきたいと考えています。運営基盤の確立と販売拡大、商品開発、ブランド化を3つの柱として進めていくよう指導していきます。具体的には、インターネットを使用した販売、学校給食の食材としての使用やイベントでのPR活動、また近隣大学と連携しブランド化の研究を行い、樽見鉄道やうすずみ温泉と連携して飲食業での使用を拡大していくような計画です。

2. 本巢市農振除外申請の受付について

※委員から東海環状自動車道開通に伴い、土地を利用したい人たちのために、申請受付を年2回以上とすることについて要望がありました。



● 審議結果および各議員の表決 ●

【表示記号】 「○」…賛成 「×」…反対 「-」…欠席・除斥等による不参加 「/」…議長のため採決に加わらない

平成28年第1回定例会																					
議案番号・議案名等		議決結果	堀部好秀	江崎達己	鐔本規之	黒田芳弘	船渡洋子	臼井悦子	高田文一	高橋勝美	安藤重夫	道下和茂	中村重光	村瀬明義	若原敏郎	瀬川治男	後藤壽太郎	上谷政明	大西徳三郎	鶴飼静雄	
市長提出議案	議案第21号 本巣市ねたきり老人等介護者慰労金支給条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×
	議案第25号 本巣市出産祝金支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×
	議案第38号 平成28年度本巣市一般会計予算について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×
	議案第39号 平成28年度本巣市国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×
	議案第40号 平成28年度本巣市後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×

平成28年第1回定例会 (全会一致で可決された議案)															
市長提出議案	議案第1号 本巣市監査委員の選任について	市長提出議案	議案第23号 本巣市立幼稚園条例の一部を改正する条例について												
	議案第2号 本巣市固定資産評価審査委員会委員の選任について		議案第24号 本巣市保育所条例の一部を改正する条例について												
	議案第3号 本巣市固定資産評価審査委員会委員の選任について		議案第26号 本巣市手数料徴収条例の一部を改正する条例について												
	議案第4号 本巣市固定資産評価審査委員会委員の選任について		議案第27号 調停の申立て等について												
	議案第5号 人権擁護委員候補者の推薦について		議案第28号 本巣東辺地に係る総合整備計画の変更について												
	議案第6号 人権擁護委員候補者の推薦について		議案第29号 根尾西辺地に係る総合整備計画の変更について												
	議案第7号 人権擁護委員候補者の推薦について		議案第30号 指定管理者の指定について												
	議案第8号 本巣市教育委員会委員の任命について		議案第31号 岐阜地域児童発達支援センター組合規約の変更に関する協議について												
	議案第9号 本巣市行政不服審査会条例について		議案第32号 平成27年度本巣市一般会計補正予算(第5号)について												
	議案第10号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について		議案第33号 平成27年度本巣市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について												
	議案第11号 本巣市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		議案第34号 平成27年度本巣市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について												
	議案第12号 本巣市職員の退職管理に関する条例について		議案第35号 平成27年度本巣市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について												
	議案第13号 本巣市職員の降給に関する条例について		議案第36号 平成27年度本巣市公共下水道特別会計補正予算(第1号)について												
	議案第14号 本巣市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について		議案第37号 平成27年度本巣市水道事業会計補正予算(第2号)について												
	議案第15号 地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について		議案第41号 平成28年度本巣市農業集落排水事業特別会計予算について												
	議案第16号 本巣市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について		議案第42号 平成28年度本巣市公共下水道特別会計予算について												
	議案第17号 本巣市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について		議案第43号 平成28年度本巣市水道事業会計予算について												
	議案第18号 本巣市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		議案第44号 本巣市教育長の選任について												
	議案第19号 本巣市デイサービスセンター、本巣市在宅介護支援センター及び本巣市根尾生活支援ハウス条例の一部を改正する条例について		議案第45号 財産の無償譲渡について												
	議案第20号 本巣市介護保険居宅サービス事業及び居宅介護支援事業条例の一部を改正する条例について		発議第1号 TPP交渉結果の情報開示と「大筋合意」の慎重な審議を求める意見書について												
議案第22号 本巣市立幼稚園設置条例について															

議会開会のお知らせ

◆6月10日(予定) 定例会 詳細確定後ホームページに掲載します。傍聴におかけください。



本巣市公式
マスコットキャラクター
もとまる

●特集①●

弾正小学校が
日本動物大賞
グランプリを
受賞!!

37年の歴史をもつ弾正小学校の動物ランドが公益財団法人日本動物愛護協会主催の日本動物大賞愛護部門で大賞に選ばれ、さらにその中でグランプリを受賞されました。授賞式は、3月13日(日)東京で行われ、記念講演で「動物ランド」の紹介をされました。



▲「プレーメンの音楽隊」をモチーフにした表彰牌
東京芸術大学名誉教授 故 西 大由氏作

歴史

子どもたちの工夫と
熱意で誕生した
動物ランド

昭和五十二年、傷ついたマガモの手当てを契機に弾正小学校の動物飼育は始まりました。飼育環境が整っていない中で工夫を重ねていた子どもたちは児童会で「飼育小屋をみんなで作ろう」と提案し、設計図を作成しました。

その熱意が当時の町当局に伝わって完成したのが初代の動物ランドです。昭和五十四年七月のことです。子どもたちは完成を喜び、お礼の気持ちを込めて保護者地域の方をお招きして第二回動物ランド祭りを開催しました。

以来、三十七年間にわたり、保護者、地域の皆様の温かい支援を受け、全校児童で飼育を続けています。現在、七種類二十四匹

が飼育舎に住んでおり、毎朝子どもたちが登校してくるのを待っています。

祭りは現在も続いており、年一回、学習成果の発表と動物たちや協力してくださる皆様への感謝を込めた動物ランド祭りを実施しています。



▲昭和54年7月 初代動物ランド完成

学び

命を慈しみ
進んで学び工夫し
仲間と共にやり抜く

動物ランドの一日は、動物たちへの朝の挨拶から始まります。動物ランドの南には、動物たちのお墓である『思い出ランド』があり、手を合わせて動物たちとお話をする子どもたちもいます。お昼休みには児童会の委員による動物たちといっしょに遊ぶ時間も設けています。こうした取組を通して子どもたちは、「命を慈しみ愛すること」を学びます。

その心が、かけがえのない命を守るために「進んで学び工夫する力」、「仲間と共にやり抜く力」の育成につながります。一生懸命育てても、動物たちの命には限りがあります。なぜ亡くなったのだろう、どうしたら長生きできるのだろうと調べ、考え、協力して各々の動物にあった餌やりを工夫し環境づくりに知恵を絞っています。

こうして、弾正小学校の子どもたちは動物たちのおかげで毎日、「命の学習」を続けていきます。



動物たちから
学んだこと
(動物ランド委員インタビュー)

生まれることから学び、死からも学びました。病気にならないように観察したり餌を考えたりするなど、生死に関わることでたくさんのことを学びました。動物たちに感謝しています。



▲平成27年度 児童会動物ランド委員の子どもたち(現在の動物ランド)

言葉を話すことのできない動物の気持ちを推し量り、接してきました。中学校でも人と関わる時にこの姿勢を生かしていきます。

●特集②●

本巣市観光協会 『本巣の語り部会』

『継続は力なり』

平成22年3月淡墨公園で研修会を行い、4月には淡墨桜の開花に合わせて全国からの観光客の皆様にご案内を
行い語り部会のスタートを切りましたが、知識不足、勉強不足、と経験不足のため冷や汗の連続であったと今でも
鮮明に思い出します。この一週間ほどの状況を当時の白木観光協会長さんに報告して今後の対策を立ててい
たできました。

平成22年5月14日に本巣市観光協会『本巣の語り部会』が設立され、22年度中に『本巣の古刹に
ついて』『古田織部と本巣市』『濃尾地震と根尾谷断層について』『観光客に対する話し方』『淡墨桜
の保護保全について』等5回の養成講座を開催して23年4月の淡墨桜の開花とともにボランティア
ガイドを行いました。まだ2年目であり経験不足は隠すことができない状態でしたがなんとか乗り
切ることが出来ました。23年度中には集中的に淡墨桜についての養成講座を行いました。



▲淡墨公園での活動

平成24年5月11日の第1回『古田織部顕彰茶会』
と織部ゆかりの地を回る散策ツアーを行いました。
そのための勉強会を重ねて開催準備をして顕彰茶
会、散策ツアーに対応しました。

平成22年以来、毎年養成講座を開き会員相互に
研鑽を積み、淡墨公園でのガイドを中心に活動をし
ておりますが、全国からの観光客の皆様と直接接し
て良いこと悪いことを含めて意見をいただいております。

語り部を初めて今年で7年目になりますが、今この文章を記しながら毎年の記録を見ていきますと、3年ほど前
から外国の方が目立つようになりました。また国内の観光客の方からは、お礼の言葉や、礼状をいただくことが多
くなりました。

お客様から尋ねられることは、多種多様によりますがその1は、名
物は？お土産は？その2は、食事はどこがいいか？この土地のものを
食べられる所は？その3は、ほかに見学出来る所は？特に今年は、
セラピーロードの看板が設置されたのでルートマップ等を求める
方、ハイキングコースの事等健康志向の方が目立って多いと思いま
した。

今後の課題としては、語り部会員を増強することと、直接観光客
の方から聞いた情報を観光施策に反映することが重要と思います。

本巣市観光協会・「本巣の語り部会」
会長 青木輝泰さん

議会だより編集特別委員会

◎江崎達己 ○堀部好秀 若原敏郎 村瀬明義 船渡洋子